

関西貨物協議会 news

発行者：関西貨物協議会 大阪府大阪市北区錦町2-2 国労大阪会館 Tel 06-6358-1190
発行責任者：工藤 隆志 編集：恵阪 景一 2024年 1月 1日 NO. 2

謹賀新年

議長 工藤 隆志 (近畿)
副議長 熊野 孝人 (北陸)
副議長 荻田 啓二 (近畿)
副議長 國松 重浩 (近畿)
副議長 大森 忠 (近畿)
副議長 佐藤 英和 (岡山)
副議長 長尾 保宏 (広島)
事務長 恵阪 景一 (近畿)

新年のご挨拶
組合員とご家族の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

貨物会社の2023年度決算は、経常利益は連結▲43億円、単体▲63億円と、ともに赤字を計上しました。2023年度事業計画は、当初、連結36億円、単体20億円の計上利益を目指していましたが、中間決算は、連結▲10億円、単体▲21億円となり、2024年度3月期見通しを大幅に改定しています。この間、コロナや自然災害、物価高騰による減収を理由に人件費抑制が行われ、社員へ犠牲を押し付けています。背景には、国からの支援を受けている中で、「JR貨物グループ長期ビジョン2030」や「中期計画2023」における施策を遂行させ、完全民営化への道筋をつけることあり、今後においても更なる人件費の抑制が想定されます。

2024年はトラックドライバーの労働時間の上限規制による「2024年問題」が取り出されています。また、国が10年間で鉄道貨物輸送量を2倍とする方針を打ち出しており、鉄道貨物輸送が果たす役割は高まっています。「構造矛盾」、「経営課題」を解決せずに、施策の遂行や減収を理由に社員の生活を犠牲にすることは許されません。

政治問題と貨物会社とのかわりには、安倍政権時において安保法制成立を強行し、集団的自衛権の行使を可能とし、それを引き継いだ岸田政権は、「安保3文書」を閣議決定し、「反撃能力」の保有、「武器輸出三原則」の見直しなど、改憲への動きに向かっていきます。また、政府は、災害物資、国民生活に欠かせない物資輸送を止めないことを責務とし、「指定公共機関」として位置付けていますが、一方で、防衛省は有事における安全保障に対する鉄道貨物輸送の重要性を訴え、「国民保護法」に基づく「指定公共機関」としての役割を述べています。私たち鉄道労働者がよりその役割について積極的に求められ、危険にさらされることになりません。鉄道労働者の歴史、闘いからも暴走する「改憲勢力」と対峙し、戦争法反対、核兵器廃絶、憲法9条を守り、立憲主義を取り戻すことが重要となっています。

関西貨物協議会は、貨物会社及び関連会社の労働条件改善、職場環境改善、安全輸送確立、諸要求実現、生活改善、組織拡大の実現に向け、その先頭で奮闘することを決意し、今年も皆様にとって、より良い年なることを祈念し新春の挨拶といたします。本年も健康に留意しながら奮闘しましょう。どうぞ宜しくお願いします。

2024年元旦

関西貨物協議会 議長 工藤 隆志

近畿貨物協議会定期委員会開催

近畿貨物協議会は、11月23日（木）、国労大阪会館において37回定期委員会を開催しました。来賓には、近畿地方本部山本執行委員長、西日本本部大和執行副委員長、関西貨物協議会恵阪事務長が出席しました。委員会議長には久米委員を選出し議事進行を行いました。討論では、委員全員が発言し、山中議長が集約を行い、2023年新役員を選出しました。



○ 出された主な意見

- ・ 乗務員の宿泊所が汚く不衛生で改善してもらいたい。
- ・ 職場の組合員が減少しており、不安であるが拡大に向けていきたい。
- ・ 姫路貨物駅信号取り扱い所に隣接して水素ステーションが設置される予定であるが、問題ないか。
- ・ 吹田機関区貨車検修の昼入換作業が終わらない事が多く、昼からの作業に支障が出ている。
- ・ 掲示板に掲示物が多いときは評判がよく、今後も活用していくことが重要。
- ・ 新入社員を教育しても転勤となり、定着しない。

2023年度新役員

議長	山中 和也	大阪貨物（夕）駅
副議長	矢田 慎太郎	神戸貨物（夕）駅
事務長	荻田 啓二	京都貨物駅

広島貨物協議会定期委員会開催

広島貨物協議会は12月9日（土）広島ロードビルにおいて、第36回定期委員会を開催しました。

来賓には広島地方本部佐々木委員長、関西貨物協議会工藤議長、恵阪事務長が出席しました。

委員会議長には田中委員を選出し、議事進行を行いました。

広島協議会奥尾議長からは、貨物会社は黒字でも社員に還元しない。国労の闘いを広げ組織拡大を実現していくことが重要である。個々の闘いを組織拡大と結び付けよう。と挨拶を行いました。委員からは活発な発言を受け 2023 年度新役員を選出しました。

○出された主な意見

- ・ 幡生構内下り詰所にトイレがなく、設置してもらいたい。
- ・ 下関貨物駅の社員通路の枕木が朽ちており、危険な状態で放置されている。安全面から早急に対処されたい。
- ・ 検査周期延伸により工事が減っている。
- ・ 大規模改修がようやく動き始めるが、計画として遅れているのではないか。
- ・ 広島（夕）連動装置の改修工事が2025年としていたが、どうなっているのか。
- ・ 設備投資を行うといいつつも、やらない。
- ・ ロジの責務として、下関、幡生についてみていかななくてはならない。

2023年度新役員

議長	長尾 保宏	広島車両所
事務長	奥尾 秀之	中国ロジコンテナ検修所



北陸貨物協議会定期委員会開催

北陸貨物協議会は11月18日（土）北陸地方本部において第35回定期委員会を開催しました。

来賓には、北陸地方本部太田書記長、西日本本部大和執行副委員長、関西貨物協議会工藤議長が出席しました。

北陸貨物協議会笹山議長からは、「2023 年度年末手当」は「1.63 ヶ月」と国労要求と大きくかけ離れ、職場では落胆している。職場では退職者が後を絶たない事態となっており、国労の役割として生活改善、職場環境改善等要求実現に向け、組織拡大と合わせて運動を展開しよう。と挨拶を行ないました。委員からは活発な発言を受け、2023 年度新役員を選出しました。

2023年度新役員

議長	高橋 博幸	富山機関区
副議長	南 昭義	北陸ロジ南福井営業所
事務長	太田 茂雄	富山機関区
幹事	熊野 孝人	富山機関区
幹事	坪坂康弘	富山機関区
会計監査	五十嵐 亨	北陸ロジ富山検修所

○出された主な発言

- ・ 雪害交渉の要求は9月中には申し入れを行うことはできないか。
- ・ 65歳以上の雇用継続は要員不足が原因か。
- ・ 若年社員の退職が続いている。
- ・ C&C活動が評価に関わると思い行っている。労働者間に競争が生まれている。
- ・ 荷物の運賃は適正な価格か。
- ・ 年末手当をどう見るか。
- ・ 組織問題は深刻であり、拡大に向け取り組みを強化しなくてはいけない。